

なるべく歯を削らないで治す
コンポジットレジン修復

田代 浩史 著



特徴 1 どこを治療したのか見分けがつかない 自然な治療跡

日本の歯科治療では、古くから銀色の金属修復材料が使われ、現在でも奥歯のむし歯に対する治療方法として、広く一般的に使用されています。「銀歯」は、日本の優れた保険制度のなかで認められた、奥歯のむし歯治療の中心であることは間違いありません。しかし、銀色の詰め物は自然な歯の色と違いますので、積極的に銀歯を希望する患者さんは少なくなっていると思います。

コンポジットレジンによる治療の最大の特徴は、その治療跡の自然な仕上がりです。歯と接着により一体化して、詰め物と歯との境界線は判別が困難です。歯に詰めるコンポジットレジンにはさまざまな色が揃い、人それぞれの歯の色に合わせた修復が可能です。

【症例 1】**【症例 2】** はともに、患者さんが歯の色を自然にしたいという審美的な問題解決のため、金属の材料を撤去し、むし歯の除去を行い、コンポジットレジンによる審美的な再修復が行われています。

【症例 1】



治療前. 上の奥歯の銀歯が気になるとのこと



銀歯を外した状態



むし歯部分を除いた状態



治療後

【症例 2】



治療前. 上の奥歯の銀歯が気になるとのこと



治療後

③ どんな治療に使えるの？

場面 1 むし歯治療のときに…

現在，早い段階での小さなむし歯に対する治療方法として，コンポジットレジン修復が選択される場合が多くなっています．ほかの方法と異なり，むし歯の部分だけを削って，コンポジットレジンに歯に接着させて埋めることができます．このため，健全な歯を余分に削る必要がなく，コンパクトなむし歯治療が短期間で可能です．

【症例 1】では，若い患者さんの小さなむし歯を，専用の検知液と器材とで丁寧に除き，接着材をつけたのち，コンポジットレジン少量ずつ詰めて形を回復しています．むし歯の原因となる細菌が存在する部分だけを染色する特殊な検知液を使用することで，健全な部分と区別できます．また，むし歯の除去には小さなスプーン状の刃物を使用して少しずつ削っていくと，歯を削る際の痛みを小さく抑えることもできます．

【症例 1】



治療前. 奥歯のむし歯で歯の溝に小さな穴が開いた状態



むし歯の原因となる細菌が存在する部分のみを、染色して区別



むし歯を除いた後、接着材を歯に塗る



光を当てて接着材を硬める



少しずつコンポジットレジンをつめる



治療後

場面3 歯の色・形をきれいにするとき…

歯の形や色に問題がある場合、これまでは歯を大きく削り、作製された「かぶせ物」を着けて改善する方法が一般的でした。しかしこの場合、かぶせ物を作製・装着するためには、そのために必要となる形に歯を整えるため、健全な歯を削る部分が多くなってしまいます。

一方、このような状況でコンポジットレジン修復を活用した場合、歯の形や色を改善するために必要な部分のみ、最小限の範囲で歯を削り、コンポジットレジンに歯に接着させて形や色を改善することができます。コンポジットレジンに歯に直接詰めて形を整える方法なので、歯を大きく削る必要がないのがメリットです。

【症例 1】【症例 2】 はともに、患者さんのきれいにしたいという要望のため、変色してしまった古い修復材料を取り除き、最小限の範囲で健全な歯の形を整えて、コンポジットレジンによる再修復が行われています。

【症例 1】



治療前. 前歯全体が変色している状態



コンポジットレジン用の接着材を塗る



形を整えて磨く



治療後

【症例 2】



治療前. 前歯が 1 本変色している状態



治療後